

平成 28 年度

(平成 28 年 1 月 21 日から平成 28 年 12 月 31 日まで)

# 事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

## 目次

### 第1 事業の状況

### 第2 事業の成果

1. 助成金の交付
  - (1) 助成金の対象
  - (2) 助成金額
  - (3) 平成28年度受賞者

### 第3 管理事項

1. 理事会
  - (1) 平成28年度第1回理事会
  - (2) 平成28年度第2回理事会
  - (3) 平成28年度第3回理事会
  - (4) 平成28年度第4回理事会
  - (5) 平成28年度第5回理事会
2. 評議員会
  - (1) 平成28年度第1回評議員会
  - (2) 平成28年度第2回評議員会

## 第1 事業の状況

平成28年度は、前年度より内閣府に対し公益認定申請を行っていたところ、平成28年1月21日付けで内閣府より公益財団法人として認定を受け、移行登記を行った。

この移行に伴い、平成28年1月21日より財団名を「公益財団法人新日本先進医療研究財団」と改称した。

今年度も、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、平成28年度第2回助成金応募を7月より行い、同年12月に25名の受賞者を決定、助成金を交付した。なお、今年度は「がん」に関する研究に限定、助成金額を前年度より増額した1件あたり200万円、総額5000万円の助成を行った。

## 第2 事業の成果

### 1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

#### (1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、平成28年度の募集は、「がん」に関する研究に限定した。

#### (2) 助成金額

1件あたり200万円を上限として支給

#### (3) 平成28年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 平成28年度（第2回）研究助成金受賞者

| 氏名   | 所属機関                          | 研究題目                             |
|------|-------------------------------|----------------------------------|
| 東 公一 | 久留米大学医学部内科学講座<br>呼吸器神経膠原病内科部門 | ドライバー遺伝子変異依存肺癌における免疫逃避機構の解明と治療戦略 |

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 有山 寛   | 九州大学病院<br>血液・腫瘍内科                       | 胃印環細胞癌に対する新規治療ターゲットの同定および治療法の開発                           |
| 飯森 真人  | 九州大学大学院医学研究院<br>がん分子病態学講座               | 抗がん剤による老化誘導シグナルの分子機構解明と創薬標的の探索                            |
| 池ノ内 順一 | 九州大学大学院理学研究院<br>生物科学部門代謝生理学研究室          | 癌細胞の遊走能獲得機構の解明  |
| 井手上 賢  | 熊本大学大学院<br>自然科学研究科                      | RNA を介した染色体制御メカニズムとそれを標的としたがん抑制戦略の探索                      |
| 岩見 真吾  | 九州大学大学院理学研究院<br>生物科学部門                  | ヒト化マウスの白血球動態の定量化に基づいた新しいがん研究の展開                           |
| 岩本 英希  | 久留米大学内科学講座<br>消化器内科部門                   | 肝細胞癌組織におけるエクソソームを介した細胞間情報伝達による腫瘍血管の形態・機能的変化の解析            |
| 門松 毅   | 熊本大学大学院<br>生命科学研究部分子遺伝学分野               | 希少腎がんに対する個別化治療戦略の確立に向けた基盤技術の創出                            |
| 亀田 拓郎  | 宮崎大学医学部付属病院<br>第二内科                     | 遺伝子改変マウスを用いた HTLV_1 関連疾患 (ATLL および HAM) の病態解明および新規治療法開発   |
| 川上 広宣  | 九州大学大学院薬学研究院<br>分子生物薬学分野                | 新規抗がん剤の創薬を志向した細胞周期亢進因子の網羅的探索と制御動態解明                       |
| 河原 康一  | 鹿児島大学大学院<br>医歯学総合研究科腫瘍学講座<br>分子腫瘍学分野    | 核小体を起点とした分裂期チェックポイント機構の解明と新規抗癌剤の開発                        |
| 菊繁 吉謙  | 九州大学大学院医学研究院<br>応用病態修復学講座               | 急性骨髄性白血病幹細胞における TIM-3 シグナルによる $\beta$ -catenin 経路活性化機構の解明 |
| 國崎 祐哉  | 九州大学大学院医学研究院<br>応用幹細胞医科学部門<br>がん幹細胞医学分野 | 造血器腫瘍の発症、進展を支持する骨髄微小環境の同定                                 |

|               |                               |  |
|---------------|-------------------------------|--|
| 佐藤 賢文         | 熊本大学大学院<br>先導機構佐藤研究室          | HTLV_1 による発がんに関わるウイルス遺伝子<br>HBZ のエンハンサー領域特定および分子機構<br>解明研究                 |
| 佐藤 哲也         | 九州大学生体防御医学研究所                 | 臨床ビッグデータを利用したがん治療用抗体医<br>薬の新規ターゲットの発見                                      |
| 塩田 真己         | 九州大学病院<br>泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科     | ゲノムワイド SNP アレイによる転移性前立腺<br>癌治療の個別化医療の確立と最適化                                |
| 幣 光太郎         | 宮崎大学医学部内科学講座<br>消化器血液学分野      | Calreticulin が関わる造血シグナル伝達機構、お<br>よびその破綻による骨髄増殖性腫瘍発症機序の<br>解明               |
| 塚本 (粟井)<br>博丈 | 熊本大学大学院生命科学研究院<br>免疫学講座       | 免疫抑制因子としての IL-6 シグナルを標的とし<br>た癌免疫療法の効果予測と、増強戦略の基盤構<br>築                    |
| 野波 篤          | 久留米大学医学部内科学講座<br>血液・腫瘍内科部門    | 骨髄増殖性疾患における、CALR 遺伝子変異に<br>よる JAX2 活性化メカニズムの解明                             |
| 馬場 崇          | 九州大学大学院医学研究院<br>分子生命科学系部門     | 核内受容体 Ad4BP によるガン細胞特異的代謝<br>制御機構の解明  |
| 土方 康基         | 九州大学病院<br>先端分子細胞治療科           | 新規腫瘍溶解性エンテロウイルス、エコウイル<br>ス 4 (echovirus4) による食道癌治療法の開発                     |
| 日野 信次朗        | 熊本大学発生医学研究所<br>細胞医学分野         | がんにおけるリボフラビン代謝動態とエピゲノ<br>ム制御異常に関する研究                                       |
| 三好 寛明         | 久留米大学医学部<br>病理学講座             | パラフィン包埋検体から抽出した RNA を高感<br>度に定量できる測定手法 (nCounter system) を<br>用いた悪性リンパ腫の研究 |
| 安河内 友世        | 福岡大学薬学部総合臨床医学講座<br>免疫・分子治療学分野 | がん進展における組織特異的非コード RNA ネ<br>ットワークの探索  |
| 山西 芳裕         | 九州大学高等研究院                     | ドライ研究とウェット研究の融合による抗がん<br>作用薬の探索  |

### 第3 管理事項

#### 1. 理事会

##### (1) 平成28年度第1回理事会

開催方法：決議の省略の方法（平成28年3月18日提案書発送）

議案：①平成27年度事業報告および収支決算報告ならびに監査報告承認の件

②評議員会を書面にて開催する件

（提案事項）

- ・平成27年度事業報告および収支決算報告承認の件
- ・定款変更承認の件
- ・理事及び監事の任期満了に伴う再任の件

審議結果：提案された議案につき、書面により、理事全員からの同意の意思表示を、また監事から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第35条の規定に基づき、理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成28年3月31日

##### (2) 平成28年度第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

議案：①理事会を書面にて開催する件

②平成28年度事業計画および収支予算書の承認の件

③各種規程案変更および追加に関する承認の件

各種規程案(助成金交付規程、選考委員会規程、役員および評議員の報酬並びに費用に関する規程)に対する承認並びにその他規程の公益認定に伴う一部変更に関する報告

④理事会の決議日の件

⑤評議員会を書面にて開催する件

審議結果：提案された議案につき、書面により、理事全員からの同意の意思表示を、また監事から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第35条の規定に基づき、理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成28年4月15日

##### (3) 平成28年度第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

議案：①代表理事選定の件

②理事会の決議日の件

審議結果：提案された議案につき、書面により、理事全員からの同意の意思表示を、また監事から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第35条の規定に基づき、理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 4 月 15 日

(4) 平成 28 年度第 4 回理事会

開催日：平成 28 年 6 月 20 日

開催場所：センチュリー赤坂門ビル 9 階 会議室

出席者：理事 3 名（総数 3 名） 監事 1 名（総数 1 名） 評議員 4 名（総数 4 名）

議案：①平成 28 年度助成金事業について

②選考委員について

③今後の理事会の取組みについて

④その他

審議結果：提案された 4 件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

報告事項：常務理事より、定款第 31 条第 2 項に基づき、職務執行状況の報告が行われた。

(5) 平成 28 年度第 5 回理事会

開催日：平成 28 年 11 月 28 日

開催場所：センチュリー赤坂門ビル 9 階 会議室

出席者：理事 3 名（総数 3 名） 監事 1 名（総数 1 名） 評議員 4 名（総数 4 名）

議案：①平成 28 年度の助成金採択者の承認の件

②平成 29 年度事業計画及び予算案の承認の件

③選考委員の任期満了に伴う再任の件

④役員の変更の件

審議結果：提案された 4 件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

報告事項：常務理事より、定款第 31 条第 2 項に基づき、職務執行状況の報告が行われた。

2. 評議員会

(1) 平成 28 年度第 1 回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

議案：①平成 27 年度事業報告および収支決算報告ならびに監査報告承認の件

②定款変更承認の件

③理事および監事の任期満了に伴う再任の件

④評議員会の決議日の件

審議結果：提案された議案につき、書面により、評議員全員からの同意の意思表示を得たので、定款第 20 条に基づき、評議員会があったものとみなされた。

評議員の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 4 月 15 日

(2) 平成 28 年度第 2 回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

議 案：①役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の件  
②評議員会の決議日の件

審議結果：提案された議案につき、書面により、評議員全員からの同意の意思表示を得たので、定款第 20 条に基づき、評議員会があったものとみなされた。

評議員の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 6 月 3 日